

令和3年5月25、26日 クロナマコ種苗生産～採苗～

孵化から12日目、ほとんどの幼生たちが「ドリオラリア幼生」「ペンタクチュラ幼生」になったことから、「採苗(さいびょう)」という作業を行いました。種苗生産でいう採苗とは、浮遊期から着定期を迎えた幼生を付着器へ付ける作業のことをいいます。

姿が変わる時期は、幼生の体への負荷も大きく、死亡する個体も少なくありません。全滅に近い状態になることもあります。そのため、毎年この時期を迎えるとドキドキハラハラします。しかし、今年は大きな減耗なく、幼生飼育はとても順調でした！！

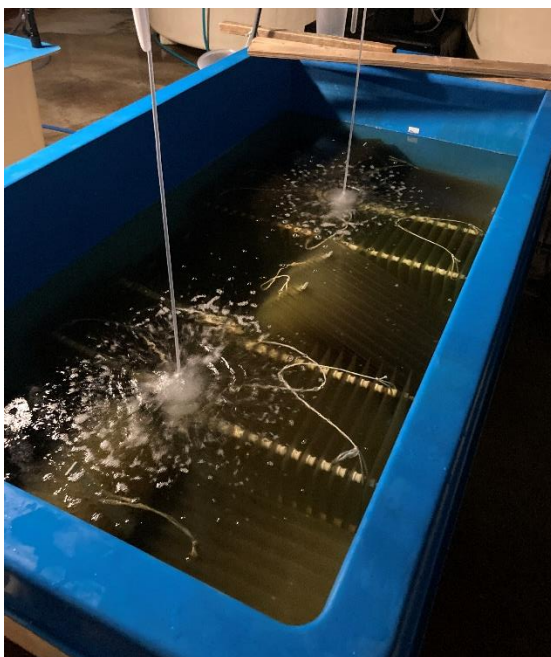


付着器

波状の板「波板」を使用します。
本来は透明の板。茶色いのは、板状に珪藻という植物プランクトンが生えているからです。



幼生は、ホースを使ってネットへ移します。



水槽に波板などの付着器を敷き詰め、そこへ幼生を入れて、付着を促します。



管足ができれば付着完了です！

付着後、さらに親に近い姿へと変わっていきます。